

## 第2回 世界獣医師会 – 世界医師会 “One Health” に関する国際会議

平成28年11月10～11日の2日間、福岡県北九州市小倉北区リーガロイヤルホテル小倉において、第2回世界獣医師会 – 世界医師会 “One Health” に関する国際会議が開催された。

以下にその概要を報告する。

### 1 会議開催までの経過

2012年10月、世界獣医師会（WVA）と世界医師会（WMA）は、“Global Health”の向上のため、“One Health”の理念の下で獣医師と医師が協力し合うことを目的として覚書を取り交わした。

一方、わが国においては、2012年のWVA-WMAの覚書の締結を受け、“One Health”の理念を推進するためには、医師及び獣医師の協力関係の構築が不可欠である」として、2013年11月、日本医師会と日本獣医師会の間で学術協力の推進に関する協定書が締結された。これを受けて、2016年11月までに、国内55の地方獣医師会と地方医師会との間で協定が締結され、全国で協力体制が築かれている。

2015年5月、WVAとWMAは、人と動物の健康と環境の保全に関する関係者の連携と情報共有を図るため、第1回WVA-WMA Global Conference on One Health（GCOH）をスペイン・マドリッドにおいて開催した。日本医師会と日本獣医師会は、連携して第1回GCOHに参加し、日本医師会 横倉義武会長及び日本獣医師会 藏内勇夫会長が、「自然災害のマネジメント—備えと医師・獣医師 “One Health” の連携」をテーマに、東日本大震災における医師会及び獣医師会の活動について講演を行った。

その後、WVAとWMAは、第1回GCOHの成功を受け、“One Health”の理念の持続的な普及推進を図るため、医師会と獣医師会の連携成功のモデルである日本医師会と日本獣医師会に対し、第2回GCOHの日本での開催を要請した。

WVAとWMAの要請を受け、日本医師会と日本獣医師会は協議のうえ「人と動物の健康と環境の保全を推進するため、それぞれに関係する医師、獣医師等の専門家が緊密な協力関係を構築し、一体で取り組む必要があるとする “One Health” の理念を国際的に普及・推進すること」を目的として、第2回GCOHを福岡県北九州市で開催することを決定した。

### 2 会議の概要

#### (1) 場所、日時

平成28年11月10～11日、福岡県北九州市小倉北区リーガロイヤルホテル小倉において、開催された。

#### (2) 参加国、参加人数

31カ国（日本を含む）から、639人が参加した。うち、医師が119名、獣医師が298名、学生が8名（医4・獣4）、同伴者が10名、その他及び不明が188名及び来賓等が16名であった。

#### (3) 会議の内容

##### ア 開会式、基調講演

11月10日午前9時から、秋篠宮同妃両殿下のご臨席のもと、開会式が開催された。主催者側から、WVA ジョンソン・チャン次期会長、WMA ザビエル・ドゥー元会長、日本医師会 横倉義武会長、日本獣医師会 藏内勇夫会長及びFAO/WHO/OIEを代表してOIE アジア太平洋地域事務所 釘田博文代表から、挨拶が行われた。

続いて、秋篠宮殿下からお言葉をいただいた後、塩崎恭久 厚生労働大臣（代理：橋本泰宏 大臣官房審議官）、山本有二 農林水産大臣（代理：消費・安全局畜産安全管理課 磯貝 保課長）、小川 洋 福岡県知事、北橋健治 北九州市長から来賓挨拶が述べられた。

その後、ノーベル化学賞受賞者 田中耕一氏による「分析機器 —感染症対策へのさらなる貢献を目指して—」と題する基調講演が行われ、秋篠宮同妃両殿下もご熱心に聴講された。

イ 基調講演の後、2日間にわたって、薬剤耐性対策（厚生労働省セッション）、宇宙飛行士の毛利 衛氏による県民公開講座「宇宙から見た地球生命のつながり」（福岡県セッション）を含む6つのセッションが開催され、22の講演が行われた。

“One Health”に関する医師と獣医師の連携については、福岡県獣医師会 草場治雄会長と福岡県医師会 稲光 毅理事から福岡県における実例が紹介された。また、聖路加国際病院 松藤 凡副院長と赤坂動物病

院 柴内裕子総院長からのアニマルセラピーの事例紹介や、日本獣医学会 中山裕之理事長からのわが国における獣医学教育改革の現状等多彩な内容の講演が行われた。

ウ 1日日夜には、福岡県・北九州市の主催による夕食会（ガラディナー）が開催された。夕食会は、太宰府天満宮の雅楽隊による演奏と舞に始まり、福岡県・北九州市の県産品を食材として使用した料理が提供される豪華なものであった。最後には博多独楽の演技が披露され、参加者の喝さいを浴びた。

エ 2日目の午後4時30分、総括に入った。ノエル・リー・J・ミランダ氏（フィリピン）による講演の後、WVA ジョンソン・チャン次期会長により会議の結論・勧告及びWVAとWMAによる将来に向けてのイニシアチブが発表された。最後に、主催者4団体の代表が登場して、日本獣医師会 藏内勇夫会長が今国際会議の成果としての「福岡宣言」を読み上げ、満場一致で採択され、第2回 世界獣医師会 - 世界医師会 “One Health”に関する国際会議は、満場の拍手の中で閉会された。



「第2回世界獣医師会 - 世界医師会 “One Health”に関する国際会議」開会式



ご臨席いただいた秋篠宮同妃両殿下



WVA ジョンソン・チャン  
次期会長の挨拶



WMA ザビエル・ドゥー  
元会長の挨拶



日本医師会 横倉義武  
会長の挨拶



日本獣医師会 藏内勇夫  
会長の挨拶



秋篠宮殿下のお言葉



小川 洋福岡県知事のご挨拶



北橋健治北九州市長のご挨拶



田中耕一氏による基調講演



毛利 衛氏による  
県民公開講座



福岡県獣医師会  
草場治雄会長の講演



「福岡宣言」を読み上げる  
日本獣医師会 藏内勇夫会長



「福岡宣言」調印後、固い握手を交わす4団体の代表

## Fukuoka Memorandum

Humankind has a responsibility to show respect for all forms of life on Earth as well as for the environment. Physicians and veterinarians have the scientific knowledge, medical training, the statutory accountability, as well as the opportunity and the responsibility to engage in a wide range of employment fields that deliver services to the benefit of people, animals and the environment.

In October 2012, the World Veterinary Association and World Medical Association signed a memorandum to collaborate in a unified approach to tackle common health issues to improve Global Health, and to focus on zoonotic diseases, responsible use of antimicrobials and enhancing collaboration on education, clinical care and public health.

In November 2013, the Japan Medical Association and Japan Veterinary Medical Association signed a written agreement to share academic research information related to the development of human and veterinary medicine as well as to collaborate together to build a safe and healthy society. In addition, JMA and JVMA agreed to reinforce collaborations on infectious diseases, disaster preparedness and management according to the lessons learned from the Great East Japan Earthquake occurred in 2011. The conclusion of this agreement was also achieved by regional medical associations and regional veterinary medical associations throughout Japan.

In November 2016, the World Veterinary Association (WVA), World Medical Association (WMA), Japan Medical Association (JMA), and Japan Veterinary Medical Association (JVMA) jointly held the Second WVA-WMA Global Conference (GCOH) on One Health in Japan following the inaugural GCOH held in Madrid, Spain, in 2015.

Physicians and veterinarians from around the world gathered together in Fukuoka, Japan to exchange information and consider effective countermeasures to important global threats related to "One Health", including zoonotic diseases and antimicrobial resistance and laud-

able results were achieved.

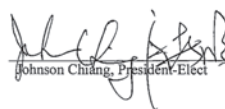
Based on the outcomes of this conference, WVA, WMA, JMA and JMVA agree to move from the validation and recognition stage of the "One Health Concept", to the practical implementation stage.

We hereby declare the following :

1. Physicians and veterinarians shall promote the exchange of information aimed at preventing zoonotic diseases and strengthening cooperative relationships, as well as to undertake further collaboration and cooperation aimed at creating a system for zoonosis research.
2. Physicians and veterinarians shall strengthen their cooperative relationships to ensure the responsible use of important antimicrobials in human and animal healthcare.
3. Physicians and veterinarians shall support activities for developing and improving human and veterinary medical education, including understanding the One Health concept and approach to One Health challenges.
4. Physicians and veterinarians shall promote mutual exchange and strengthen their cooperative relationships in order to resolve all issues related to the creation of a healthy and safe society.

November 11, 2016

World Veterinary Association  
Representative



Johnson Chiang, President-Elect

World Medical Association  
Representative



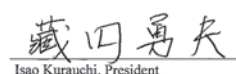
Xavier Deau, Immediate Past President

Japan Medical Association  
Representative



Yoshitake Yokokura, President

Japan Veterinary Medical Association  
Representative



Isao Kurauchi, President

## 福岡宣言

人類は、地球上の全ての生命に配慮し、地球環境を健全に維持する責任を担っている。医師と獣医師は、科学的知識を持ち、専門的訓練を受け、法に定められた義務を遂行するとともに、人と動物の健康と環境の維持に係る幅広い活動分野において業務に携わる機会と責任を有している。

2012年10月、世界獣医師会と世界医師会は、“Global Health”の向上のため、また、人と動物の共通感染症への対応、責任ある抗菌剤の使用、教育、臨床及び公衆衛生に係る協体制度を強化するため、両者が連携し、一体となって取り組むことを合意し、覚書を取り交わした。

2013年11月、日本医師会と日本獣医師会は、健康で安全な社会を構築するため、医療及び獣医療の発展に関する学術情報を共有し、連携・共同することを同意し、協定書を取り交わした。更に、日本医師会と日本獣医師会は、2011年3月に発生した東日本大震災における教訓を踏まえ、感染症、自然災害などの危機に対し備えることは勿論、医師と獣医師との連携の強化がいかに大切であるかという点についても意見の一致を見た。この協定書締結は、日本全国の地域医師会と地方獣医師会においても達成された。

2016年11月、世界獣医師会、世界医師会、日本医師会、日本獣医師会の4者は、2015年、スペインのマドリッドで開催された第1回“One Health”に関する国際会議に続いて、第2回目の国際会議を日本で開催した。

医師と獣医師は、世界各地からこの福岡の地に集い、人と動物の共通感染症、薬剤耐性対策等を含む“One Health”に関する重要な課題について情報

交換と有効な対策の検討を行い、評価すべき成果を収めた。

我々は本会議の成果を踏まえ、“One Health”の概念を検証し、認識する段階から、“One Health”の概念に基づき行動し、実践する段階に進むことを決意し、以下のとおり宣言する。

1. 医師と獣医師は、人と動物の共通感染症予防のための情報交換を促進し、協力関係を強化すると共に、その研究体制の整備に向け、一層の連携・協力を図る。
2. 医師と獣医師は、人と動物の医療において重要な抗菌剤の責任ある使用のため、協力関係を強化する。
3. 医師と獣医師は、“One Health”の概念の理解と実践を含む医学教育および獣医学教育の改善・整備を図る活動を支援する。
4. 医師と獣医師は、健康で安全な社会の構築に係る全ての課題解決のために両者の交流を促進し、協力関係を強化する。以上

2016年11月11日

世界獣医師会代表  
次期会長 Johnson Chiang

世界医師会代表  
元会長 Xavier Deau

日本医師会代表  
会長 横倉義武

日本獣医師会代表  
会長 藏内勇夫